

避難の方法が変わりました!!

保存版



ナゴヤ 災害から命を守るため、いま考えよう

避難ガイド



中区版

東日本大震災では、避難所に逃げたものの、その施設に津波が襲来し、命を落とされた方々が多数いらっしゃいました。この教訓を踏まえ、以下のように災害ごとに避難の方法が変わりました。

今まで

災害発生!!

災害の区別なく…

避難

避難所へ

これからは

災害発生!!

緊急避難

災害ごとに適した
指定緊急避難場所へ

災害のおそれが
なくなる

避難

指定避難所へ

問い合わせ先

中区役所 区政部 総務課

TEL:052-265-2211~4 FAX:052-261-0535

防災危機管理局危機管理企画室 TEL:052-972-3523 FAX:052-962-4030

1

「指定緊急避難場所」と「指定避難所」って何？

- 指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる。)
- 指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合一定期間、避難生活を送るためのところ

被害が発生するおそれがあり、急いで避難することが必要な場合(自宅にとどまると、命を守れない場合など)

緊急避難開始

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所のイメージ図

災害の種類	指定緊急避難場所	被害が想定される区
洪水・内水はん濫	想定浸水深以上にある小・中学校の教室など	全ての区
土砂災害	土砂災害警戒区域にない小・中学校など	千種・昭和・瑞穂・南守山・緑・名東・天白区の一部
津波	津波避難ビル	中川・港区の全域 中村・瑞穂・熱田・南・緑区の一部
地震の揺れ	小・中学校グラウンド 広域避難場所 一時避難場所	全ての区
大規模な火事	広域避難場所	全ての区

避難情報・気象警報の解除など、災害のおそれなくなったら

指定避難所

指定避難所のイメージ図
※体育館など

わが家の指定緊急避難場所・指定避難所

本紙を読みながら、いざという時に避難する場所を書き込んでおきましょう。

自宅にとどまると、命を守れない場合に、わが家は次の指定緊急避難場所に避難します。

災害別	わが家の被害想定の有無	どこへ逃げるか(指定緊急避難場所)	避難にかかる時間(※)
記入例	有	○○小学校、○○公園 など	10 分
洪水・内水はん濫	有の場合		分
土砂災害		中区で被害は想定されていません	
津波		中区で被害は想定されていません	
地震の揺れ			分
大規模な火事			分

※ 指定緊急避難場所まで実際に歩いてみて、避難にかかる時間を測ってみましょう。

自宅が被災して、住めなくなった場合に、わが家は次の指定避難所に避難します。

最寄りの指定避難所

いつも目につく場所に保管しましょう!!

洪水・内水はん濫、土砂災害

2

風水害の時にどう避難したらいいの？

あらかじめ確認

わが家の風水害時の被害想定を確認しよう!!

- 洪水・内水はん濫の想定浸水深 _____ m
(近隣の河川のはん濫または内水はん濫の最大浸水深)
- 土砂災害(特別)警戒区域・土砂災害危険箇所に
いる ・ いない

中区は、土砂災害の被害が想定されておりません。



- 「洪水・内水ハザードマップ」でチェック(区役所・市役所で閲覧できます。)
- パソコンをご利用の方は [こちら](#) 検索 でチェック
- スマートフォンやタブレットをお持ちの方は「名古屋市防災アプリ」でチェック➡



発災時の行動

台風の影響・大雨のおそれ



- 洪水・内水はん濫の想定浸水深より下の階にいる
- 土砂災害警戒区域などにいる
- 堤防の近くで、安全な建物※にいない ※鉄筋コンクリート造

浸水深	お住まいの階※	避難が必要
5.0m以上	➔ 3階以下	
2.0~5.0m	➔ 2階以下	
0.5~2.0m	➔ 1階以下	
0.5m未満		

※戸建住宅の2階建は、2階としてください。

どれにも該当しない



どれか1つ以上該当する

自宅などにとどまる

その場合でも周囲の状況、行政からの情報などに十分に注意してください。



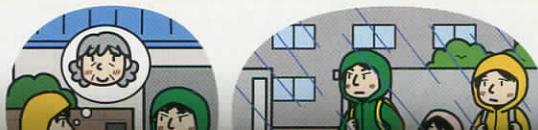
避難情報の発令により、避難行動を開始

- 避難準備・高齢者等避難開始**
避難の事前準備をする心構えをするために発表するものです。高齢の方や障がいのある方が自主避難を開始する目安となります。
- 避難勧告**
被害が発生するおそれがあるため、避難をすすめるために発令するものです。
- 避難指示(緊急)**
被害の危険が目前に切迫し、生命の危険がより高まったため、避難を強くすすめるために発令するものです。

※平成28年台風10号による水害で、高齢者施設において、適切な避難行動がとれなかったことを受け、「避難準備情報」などの名称が変更されました。



隣近所に声かけを行いながら、病人や歩行困難な人を援助しながら避難しましょう。



指定緊急避難場所 (洪水・内水はん濫、土砂災害)

裏面のマップでチェック

わが家の指定緊急避難場所

避難情報が解除されるまで緊急避難を継続しましょう。



浸水深が50cm以上になると、避難する時に危険を伴うことがあるので、無理せず周辺の安全な建物へ避難する。

避難勧告などによらず、自主的に避難しようとする場合には、事前に区役所へ連絡し、避難先などの確認を受けてください。

避難情報・気象警報の解除など、災害のおそれなくなる

自宅が被災 (浸水・土砂崩れなど) して、帰宅不可



NO



帰宅

YES



指定避難所

裏面のマップでチェック

わが家の指定避難所



3

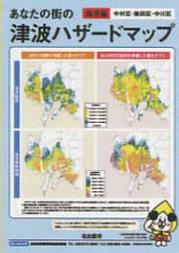
地震の時にどう避難したらいいの？

あらかじめ確認

わが家の地震時の被害想定を確認しよう!!

津波の想定浸水深 0 m (あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

中区は、津波の被害が想定されておりません。



- ・「津波ハザードマップ」でチェック(区役所・市役所で閲覧できます。)
- ・パソコンをご利用の方はこちら [名古屋市 ハザードマップ](#) [検索](#) でチェック
- ・スマートフォンやタブレットをお持ちの方は「名古屋市防災アプリ」でチェック➡



発災時の行動

地震発生



避難勧告 (大津波警報など)
発令

津波のおそれなし

津波の浸水想定区域にいる

NO

余震が続き、避難が必要

- 例) ・土砂災害警戒区域にいる
- ・建物が傾いていたり、亀裂が生じたりしている



YES

隣近所に声かけを行いながら、病人や歩行困難な人を援助しながら避難しましょう。

浸水想定区域外へ避難

YES

倒壊した建物や土砂災害などに注意して避難しましょう。

NO

自宅などにとどまる

その場合でも周囲の状況、行政からの情報などに十分に注意してください。



間に合わない場合



指定緊急避難場所 (津波)

【津波避難ビル】

裏面のマップでチェック

わが家の指定緊急避難場所

避難情報が解除されるまで
緊急避難を継続しましょう。



指定緊急避難場所 (地震)

【小・中学校グラウンド、広域避難場所、
一時避難場所】

裏面のマップでチェック

わが家の指定緊急避難場所



大津波警報の解除など、災害のおそれなくなる

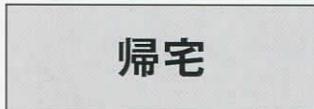
自宅が被災 (浸水・倒壊など) して、帰宅不可



NO



帰宅



YES



◎外出先で地震が発生したとき

交通機関が停止して帰宅することが困難になった場合、以下のとおり行動してください。

- ① 職場や学校など、安全な場所に一旦戻る。
- ② 広域避難場所などに移動して様子を見る。

指定避難所

裏面のマップでチェック

わが家の指定避難所



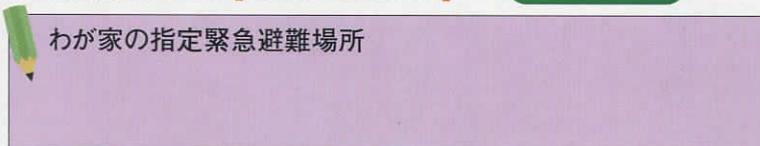
地震などで、大規模な火事が発生した場合は、火事から避難者を守る広い空間を有する「広域避難場所」に避難します。

指定緊急避難場所

(大規模な火事) 【広域避難場所】

裏面のマップ
でチェック

わが家の指定緊急避難場所



4 災害時に、どうやって情報を入手するの？

大雨や地震などの災害発生時には、防災に関する情報(避難情報など)を、様々な方法で市民の皆さまにお伝えします。



まずは、これらの方法などで名古屋市から市民の皆さまへお知らせします

広報車・防災スピーカー

避難情報などを、該当地区に音声やサイレンでお知らせします。



テレビ・ラジオ

避難情報などが字幕などで表示されます。(詳しく情報を知りたい場合は、リモコンのdボタンを押して、データ放送で確認できます。)



きずなネット防災情報

あらかじめ登録するメール配信サービスです。m.saigai@cep.jpへ空メールを送信し、返信されたメールの内容にそって登録してください。

緊急速報メール

対応する携帯電話に緊急情報を一斉配信するサービスです。あらかじめ、ご利用されている携帯会社にご確認ください。



さらに詳しく知りたいときは…

市公式ウェブサイト、SNS (Twitter・Facebook)

避難情報のほか、発災後の生活支援に関する情報を、市公式ウェブサイトに掲載するほか、SNSでも発信します。



Facebook (名古屋市防災)



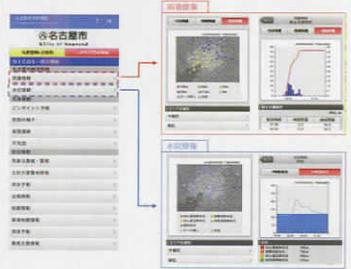
Twitter (名古屋市防災)



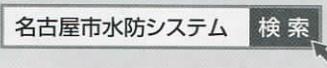
名古屋市水防情報システム (NICOS)

市内及び周辺部の雨量や河川水位の状況などを確認することができます。

スマートフォンをご利用の方はこちら



パソコンをご利用の方はこちら



なごや減災プロジェクト

市民の皆様から寄せられた被害情報や気象に関する情報をインターネット上で共有しています。



スマートフォンをご利用の方はこちら



5

災害の発生に備えて、何を準備したらいいの？

家族での話し合い

- ★災害ごとのハザードマップなどを見ながら、事前に「**わが家**の指定緊急避難場所、指定避難所」を書き込みましょう。
- ★実際に非常持出品を持ち、避難経路を歩いてみましょう。
- ★指定緊急避難場所までどれくらい時間がかかるのか、災害時に危険がないかなど確認しておきましょう。



洪水・内水ハザードマップ 地震ハザードマップ 津波ハザードマップ

名古屋市防災アプリ

Androidをご利用の方はこちら iPhoneをご利用の方はこちら

パソコンをご利用の方はこちら

- ★ハザードマップは、区・市役所でも閲覧できます。
- ★スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、「名古屋市防災アプリ」でも確認できます。

備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品 (自分が食べやすいもの)
 - 常備薬 (持病の薬を含む)
 - 飲料水 (ペットボトル)
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品 (ゼリーなど) と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分程度用意しましょう

↓
内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

貴重品

- 現金 (小銭も必要)
- 預 (貯) 金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

照明等

- 懐中電灯 (電池含む)
- マッチ・ライター

医療用品

- 三角さん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウエットティッシュ (ティッシュ)
- お薬手帳

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

衣料品

- 衣類 (着替え)
- タオル (大小2種類)

その他

(個人的に必要なもの)

- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 予備のメガネ・補聴器など

